

## 一年をふり返って

会長 近藤節子

本年度は、女性の会と名称も変わり、新たなスタートとなった一年でした。

地球環境への配慮は、私たちの日々の生活の根幹にかかわることとして、「未来の地球に向けて 今 私の一歩を踏み出そう」のテーマのもとに、家庭でできるささやかな地球温暖化防止策、段ボールコンポストによる循環生活に全員で取り組みました。環境に視点を合わせた自主講座や女性リーダー研修会を行い、またZOOM研修も実施いたしました。7月には、東京2020オリンピックにおけるバスケットボール女子カナダ代表チームの事前合宿の際に、選手に日本文化を紹介し、また11月に行われた、ミライク刈谷2021では段ボールコンポストを主軸とした活動発表をいたしました。

一年の活動発表の場である女性の会大会は、年明けからの第6波到来で、やむなく中止といたしました。新型コロナウイルス蔓延下とはいえ、感染対策を講じ、総じて充実した活動ができた一年だったと思います。

女性の会の在り方は、働く女性が増える中で、大きく様変わりをしてまいりました。しかしながら、女性の会が地域のタテとヨコのつながりの核となること、地域の中で、顔の見える人間関係・信頼関係を育てていくことは、昔も今も変わりはありません。今後も、この顔の見える関係づくりに邁進してまいりたいと思っております。ご支援、ご協力をいただきました皆様方に、あらためて厚く御礼を申し上げます。

### ミライク刈谷2021の講座に参画

～生活文化委員会～

11月7日、総合文化センターにて、女性の会が参画した環境講座が開催されました。

「知っておきたい環境の話」や「段ボールコンポストとは？」の講義に続き、生活文化委員会が3か月にわたり全員で取り組んだ、段ボールコンポストによる循環生活の活動実践を発表しました。

講座の前と後の受講者の環境に対する意識の高まりも顕著にあらわれ、参加者も多く講座はたいへん好評をいただきました。



### 健康づくり教室

～レクリエーション委員会～

11月26日、健康運動指導士の増谷博史先生を講師にお迎えし健康づくり教室が開催されました。その場立ちや椅子に座って現在の自分自身の健康運動能力チェックを行いながら、きつい運動をするのではなく家事などに結び付け、日常生活に意識を持つことが大切であること、ゆるく長く継続することが将来の健康に繋がる事を学びました。

漫談を交えたユーモアのある増谷先生のご指導であっという間の1時間半でした。

